

2024年度 第31回 小学生学年別選手権水泳競技大会

二次要項(監督者会議)資料

- 1 開催日時 令和6年9月8日(日)
★ 7時30分 開 門
★ 9時10分 開 会 式 (選手・引率者はスタンドのまま)
★ 9時30分 競技開始
- 2 開催場所 鹿児島市 鴨池公園水泳プール 屋内 (50m × 10レーン)
- 3 参加者数 327名(男子182名、女子145名) 参加チーム数 29団体

4 競技について

- (1) 競技は本年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) レースについてはタイムレース決勝とする。競技は0~9レーンで行い、レースは「4年生以下」、「5・6年生」で行う。小学3年生以下、4年生、5年生、6年生の区分別とする。
- (3) スタートについて
* スタートは1回のルールを採用し、スタートの合図は「Take your mark (s)」で行う。
* スタートブロックの調整は前泳者がスタート(入水)してから行うこと。
* バックストロークレッジ(背泳ぎ用スタート補助装置)の水中への投入は競技役員が行うが、調整は各自で行うこと。
- (4) レース用水着は日本水泳連盟の2019年4月1日実施の規定(FINA(WA)のマーク付き)にて行う。FINA(WA)のマークの付いていない水着での出場は認めない。
- (5) 競技進行はタイムスケジュール通りに行う。ただし、競技予定時間から10分を越えて変動が生じた場合は通告にて連絡する。
- (6) 怪我等でテーピングや絆創膏等を着用しなければならない場合は「テーピング等許可願(書式⑩)」を提出し、必ず審判長の許可を得ること。
- (7) 選手の招集について
* 競技の進行状況に注意し、招集時間(競技10分前まで)に遅れないようにすること。
* リレーオーダー用紙(書式⑤)の提出について以下の通りとする。

種 目	提出時刻
男女4×50mリレー	9時15分~9時30分
男女4×50mメドレーリレー	12時15分~12時30分

※ 提出場所…1階リゾリューションデスク(RD)

※ リレーオーダー用紙の提出後は特別な理由(緊急の傷病等)以外に変更できない。

- (8) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (9) リレー引継ぎの判定はPT8000により判定する。「-0.03秒」までを許容範囲とする。
- (10) 競技を棄権する場合は、**競技開始30分前(9時00分)**までに棄権届出用紙(書式③)を1階リゾリューションデスク(RD)に必ず提出すること。
- (11) 選手紹介はアリーナに入場後、前の組が競技している時に行う。
- (12) レース終了後は速やかに**自分のレーン**から退水すること。
- (13) 競技結果の掲示は行わない。下のQRコードをスマートフォン等で読み取り、確認すること。状況によっては繋がりにくい場合がある。



超速報 Web サービス



(一社) 鹿児島県水泳連盟
専用記録サイト



(一社) 鹿児島県水泳連盟
競技結果速報サービス

5 諸連絡

- (1) 今大会はADカードによるエリアコントロールを行わない。(ADカード作成の必要なし)
- (2) 開会式および閉会式は各応援席(観客席)にて参加すること。
- (3) プログラムは1部700円で1階受付にて販売する。
- (4) プログラムの記載事項の誤りは、プログラム訂正用紙(書式②)に記入の上、**8時30分までに**1階リゾリューションデスク(RD)に提出すること。
- (5) プールでの練習について

① メインおよびサブプールの使用時間

開門	W-UP開始	公式スタート練習	W-UP終了	サブプール利用時間
7時30分	7時40分	8時10分～8時30分	8時40分	9時00分～競技終了

- * 入水前には必ずシャワーを浴びること。
- * レーンロープには乗らないこと。
- * サブプールでの練習は事故防止のため、必ず指導者および引率者がついて行うこと。
- * サブプールでの飛び込み練習は禁止とする。

② ウォーミングアップ時におけるメインプールのレーン割り振り

【7時40分～8時10分】※8時10分に全員一度退水すること。(0～7レーン対象)

	レーン		
男女 共通	0	ダッシュレーン	折り返し側からのスタート(一方通行)
	1～7	アップレーン	前後の距離をとること
	8～9	ペースレーン	キックやプル、ドリル練習では使用しないこと

【8時10分～8時30分】

	レーン		
男女 共通	0	アップレーン	前後の距離をとること
	1～7	ダッシュレーン	公式スタート練習(スタート側から一方通行) ▶ 1～4レーンは0レーン側プールサイドに並ぶ ▶ 5～7レーンは9レーン側プールサイドに並ぶ
	8～9	ペースレーン	キックやプル、ドリル練習では使用しないこと

- * 入水する際は事故防止のため、必ずプールに向かってスタート台の右側より足から静かに入水すること。
- * ペースレーンは自由形のための専用レーンとする。
- * ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止とする。
- * パドル、トレーニングチューブを使用する練習は禁止とする。
- * 状況によってはレーンの増減や変更がある。
- * サブプールにおける割り振りは特に指定しない。

(6) 会場利用について

① 館内およびプールサイドへの入場等

- * 入館時間 <選手・監督・引率者> 7時30分 入館開始(受付7時20分～)
<保護者・観覧者> 8時00分 入館開始
- * 入館場所 <共通> 飛込プール横階段
- * 選手のアリーナおよび招集所への動線は混雑を避けるため、一方通行となっている。別紙

「会場内選手動線」を事前に必ず確認しておくこと。

- * プールサイドでの選手の移動は裸足とする。監督およびコーチはスリッパまたはシューズを履いても構わないが、必ず屋内用と屋外用を区別すること。
- * 選手のエレベーター使用は原則禁止とする。

② 選手の更衣室および控え所ならびに観客席

- * 更衣室は更衣のみの使用とし、更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。
- * 選手控え所は主に外部デッキ（2階）とする。チーム別に指定するが、スペースが限られているため、お互い譲り合って使用すること。また、許可された場所以外でシート等を敷かないこと。なお、前日の控え所確保はできない。
- * 保護者用観客席は譲り合って使用すること。選手用観客席および控え所への立ち入りはできるだけ控えること。
- * 飛込み側スタンド最上部には車椅子専用のスペースが設けてあり、一般の方の利用はできない。シートを敷いたり、椅子を置いたりしての観戦はしないこと。
- * 大会期間中、降灰および雨天も考えられるため、メインプール2階外部デッキにプライベートテントを設置する際は強風等でテントが飛ばないように工夫すること。
- * 選手控え所となっている外部デッキから物やゴミ等を投げ捨てることは絶対にしないこと。特に国道側外部デッキの下はバス停になっているので注意すること。

③ マッサージエリアについて

- * 特別に場所は設定していない。各チーム控え場所にベッドを設置することを許可する。

(7) 撮影について

今大会は撮影許可書の発行は行わないが、スタート側からの撮影と競技会中のフラッシュ撮影は禁止する。各チームで動画撮影して共有する際は、以下の点に注意してください。

参加選手または関係者が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の Web サイトやその他の公的な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けること。また、会場内の BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となるので注意すること。

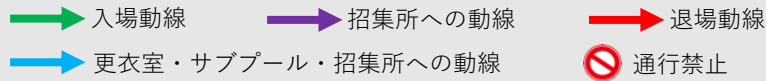
(8) その他

- ① 今大会は申し込み後の返金はいかなる場合も行わない。
- ② ゴミの処理について
 - * 大会中各チームから出るゴミは責任を持って全て持ち帰ること。
 - * 業者依頼の弁当については、持ち帰るか業者と連絡をとり確実に回収してもらうこと。
- ③ 盗難・盗撮防止について
 - * 貴重品は各チームで管理すること。プール施設管理者および大会本部は一切、責任を負いかねる。
 - * 盗撮防止のために更衣室内でのスマートフォンやカメラの使用は禁止する。発見し次第、いかなる理由であれ、没収および警察への通報等、それ相応の対応を行う。
- ④ 施設・器具用具の使い方について
 - * 大会中は施設（プール・控え所・観客席・トイレ・更衣室等）の利用はルールとマナー、常識を持って使用すること。また、もし破損した場合は、当該引率者が本部まで連絡すること。 ※ 特に更衣室等の電源を充電等で使用しないこと。
- ⑤ 賞状について
 - * 大会出場者の中から、優秀選手男女各1名、最優秀選手1名を選考し、記念品を授与する。
 - * 3位までに入賞した選手およびチームは賞状があるので、忘れずに持ち帰ること。なお、表彰は行わない。賞状の発行は当日限りとし、後日発行は行わない。
- ⑥ 不審者を見かけたら、本部席まで連絡すること。
- ⑦ 忘れ物の処理について
 - * 大会本部およびプール施設管理者では忘れ物の管理・保管はしない。帰る際は今一度、確認のうえ忘れ物がないようにすること。（大会後、1週間を目途に処分する）

- * 忘れ物に気付いたら下記連絡先に問い合わせること。
忘れ物を郵送等する場合は、「着払い」で送ること。

☞ 忘れ物等に関する問い合わせ先
鹿児島市水泳協会
☎ 090-4773-1302
(有馬康一)

会場内選手動線図



- ※ 更衣室およびサブプール内は競技中は一方通行です。ご協力下さい。
- ※ 各箇所に配置してある案内表示板および係員の指示に従ってください
- ※ 更衣室では密にならないように注意してください。また、荷物等で場所を占領し、控え所にしないようにしてください。係員が巡回し、必要に応じて撤去します。
- ※ 大会当日、会場で事前に動線の確認をお願いします。

※ 動線規制時間

9月8日(日) 午前9時20分～競技終了

※ 朝の入館時間および場所

選手・監督等チーム関係者 7時30分(飛込プール横階段)

保護者・一般観覧者 8時00分(飛込プール横階段)

競泳競技会において着用又は携行することができる 水泳用品、用具のロゴマーク等の取り扱いについて

選手の皆さんがアリーナ内に持ち込めるものには制限があります。下の様な文書を見たことがないでしょうか？どの大会のプログラムにも掲載されている文書です。これに違反すると、せっかく泳いでベストタイムが出たのに、**失格** となってしまいます。

そうならないためにも、しっかりと読んで、理解してください。

大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください

2023年4月1日
公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員のみならずが宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場（招集所出口からテーブル・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）内で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついてよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称やマーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類/用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
上記の(1)～(4)	競泳は50cm以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm以内で1カ所。(注1)	メーカーロゴは40cm以内で1カ所。マークは20cm以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm以内で1カ所。マークは20cm以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm以内で1カ所。	40cm以内で1カ所	20cm以内で1カ所

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピースの場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

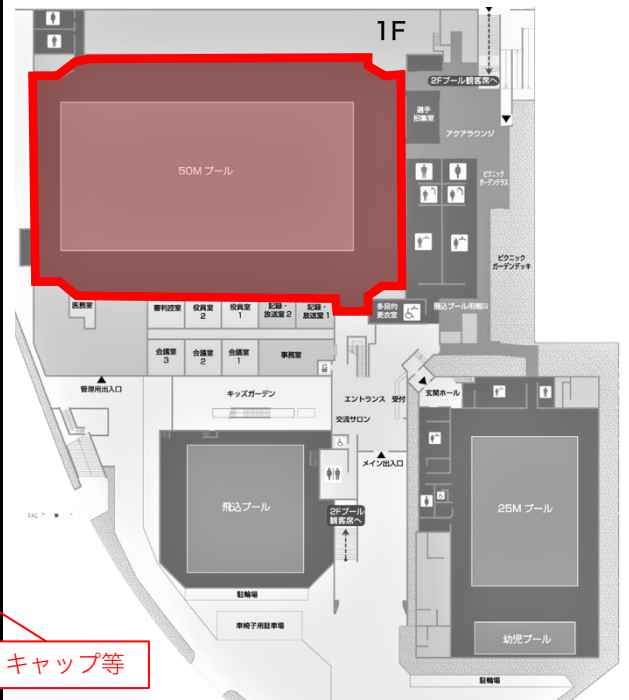
本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

- 1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。
※規定を外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。
- 2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。
- 3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。
※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。



アリーナ内（制限エリア）とは？

赤線で囲われたエリアのこと。



キャップ等

制限される時間は？

競技開始通告から競技終了通告までの間

- ※ 予選決勝レースの場合、予選終了後から決勝開始までの間を除く
- ※ 朝のウォーミングアップや予選と決勝の間のインターバルを利用してのレースプールでの練習は制限されない

特にスイミングキャップが上記規定に抵触する事例が見られます。

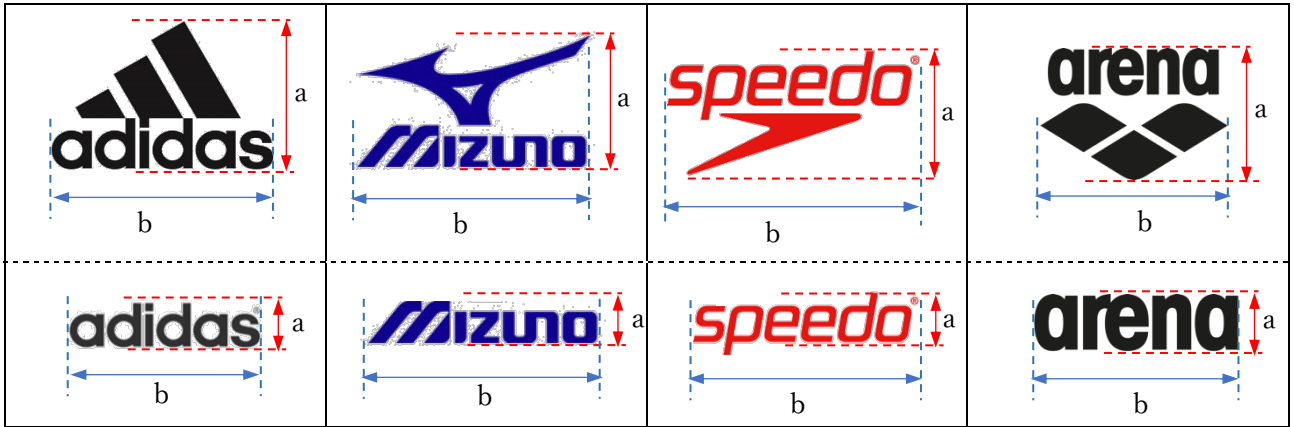
- ▶ レース終了直後、シリコンキャップを脱いだ際に、その下に被っているメッシュキャップが出場しているチーム名と違う。又はメーカーロゴが規定の大きさを超えている。
→（対策例）シリコンキャップを脱がずに、アリーナ外へ退場する。または一緒に脱ぐ

- ▶ シリコンキャップにプリントされているメーカーロゴが規定の大きさを超えている。
→（対策例）シリコンキャップを変えるか、裏返す。

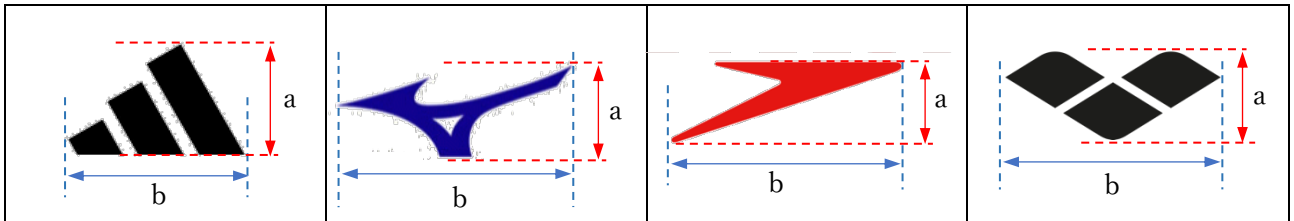
- ▶ アリーナ内へ入場した際に、着用していた T シャツやバッグ等の持ち物に「ついていてよいもの」以外がプリントされている、又はメーカーロゴが規定の大きさを超えている。
→（対策例）招集所で脱ぐ（置いていく）か、ガムテープ等で見えないように隠す。

～ メーカーロゴとマークの違い ～ ※ 面積は $a \times b$ で求めます。

<メーカーロゴ>



<メーカーマーク>



【Tシャツの例】



メーカーロゴ・マークが規定の大きさを超えている。

メーカーロゴが規定内の大きさであってもつけられる数は1個まで

ついているのはマークなので、1個が 20 cm^2 であれば、いくつつけてもOK



「ついていてよいもの」ではない。たとえ小さくても認められない。

「ついていてよいもの」の中にはないが、模様は特に問題なし

マークを隠せば「NEW YORK」は都市名なのでOK

【キャップの例】



メーカーロゴが規定の数を超えている。



メーカーロゴが規定の大きさを超えている。



絵柄が「ついていてよいもの」含まれていない。



ついているのはマークなので、1個が20cm²であれば、いくつつけてもOK



メーカーロゴが規定の大きさを超えている。

【バッグ類の例】



ついているのはマークなので、1個が20cm²であれば、いくつつけてもOK

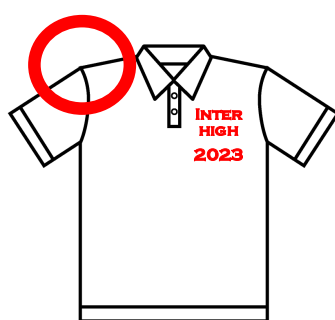


メーカーロゴが規定の大きさを超えている。

【ポロシャツの例】



「ついていてよいもの」なので問題なし



ウエアに「ついていてよいもの」の大きさに制限なし